

2018年度 第17回 東京音楽大学コンクール 実施要項

■審査部門

声楽部門・ピアノ部門

■開催日時および会場（公開審査）

声楽部門 予選 2018年11月8日（木）12:00～

本選 2018年11月16日（金）16:00～

ピアノ部門 予選 2018年11月7日（水）10:00～

本選 2018年11月15日（木）13:00～

※各日ともA館100周年記念ホールで行います。

両部門とも、参加者数により予選の開始時間を変更する場合があります。

■発表

氏名発表 予選通過者の氏名は、決定次第発表します。本選入賞者の順位は、表彰式で発表します。

■表彰

予選を通過し、本選に出場した参加者を入選者とし、審査員署名の賞状を贈ります。

本選において第1位、第2位、第3位を得た入賞者には審査員署名の賞状及び下記賞金を贈ります。

賞金 第1位 35万円、第2位 10万円、第3位 5万円

■委員（五十音順・敬称略）

運営委員長 学長 野島 稔

運営委員会 阿部 純 荒井 英治 大谷 康子 加納 里美 倉沢 仁子 山洞 智
四戸 世紀 武石 みどり 武田 真理 田代 俊文 津堅 直弘 土屋 雄
星 秀樹 水野 貴子 水野 信行 宮本 文昭 横山 恵子 木田 潤子

■審査員（五十音順・敬称略）

審査委員長 学長 野島 稔

声楽部門 市原 多朗 大勝 秀也 香月 修 木下 志寿子 永井 和子

ピアノ部門 有森 博 岡田 博美 ギグラ・カツアラヴァ 松本 和将 アンナ・ヤストルジェブスカ・クイン

■審査

予選

- ①各部門は予選を行い、本選出場者を決めます。
- ②演奏順はコンクール運営委員会が決めます。
- ③各部門とも全曲暗譜で演奏してください。但し、課題曲のなかで特別な指示のあるものは、この限りではありません。
- ④伴奏者は参加者が用意してください。
- ⑤審査にあたり、時間の都合などで演奏を途中でカットする場合があります。

本選

- ①部門ごとに審査し順位を決定します。表彰は規定による賞を贈ります。
 - ②演奏順は予選通過後に本人のくじびきで決定します。
 - ③各部門とも全曲暗譜で演奏してください。但し、課題曲のなかで特別な指示のあるものは、この限りではありません。
- ※本選の審査結果は公表します。

応募の手続きについて

■参加者資格

東京音楽大学の学部生・大学院生・大学院科目等履修生・付属高校生（ピアノ伴奏は学外者でも可とする）

■申込期間

2018年9月13日（木）～28日（金）9：30～17：30まで（但し、休日は除く）

■手続および申込先

所定の申込書に必要事項を記入し、演奏課に提出してください。

■申込書

- ①曲目を予選・本選ごとに作曲者名、曲名（作品番号、調性を含む）を和欧両文で明確に記入し、演奏所要時間も必ず記入してください。
提出後は変更できません。
- ②実技担当教員の承認印が必要です。
なお、記入事項に不備があった場合、申込みを受け付けないことや失格となる場合がありますので注意してください。
- ③声楽部門参加者は伴奏者を明記してください。
やむを得ない事情により伴奏者を変更する場合は、直ちに演奏課へ連絡してください。
伴奏者変更の可否はコンクール運営委員会が判断します。

■参加者心得

- ①予選・本選に関する心得
 - (イ)参加者はコンクール運営委員会発行の参加証と学生証(生徒証)を持参し、指定の日時に受付を済ませ控室に入り係員の指示に従ってください。遅刻の場合は棄権とみなすことがあります。
 - (ロ)ピアノ伴奏者と譜めくりは参加者が同伴してください。
 - (ハ)やむを得ず棄権することが決まった場合は、すみやかに演奏課に連絡してください。
- ②著作権に関する心得
 - (イ)著作権法に抵触する場合は失格となります。抵触の内容については運営委員会が判断します。

■お問い合わせ

東京音楽大学コンクール運営委員会 事務局 東京音楽大学 演奏課 03-3982-2496

課題曲

■声楽部門

オペラ、オラトリオより任意のアリア5曲（原調・原語で演奏し、必ずバロックからモーツァルトまでの作曲家の作品が含まれること）及び、任意の歌曲5曲 計10曲。
その中から、予選は当日、本選は予選通過時に数曲を指定する。
※伴奏はピアノに限ること。

■ピアノ部門

予選課題曲 次の①②③を演奏すること。

- ① バロックから任意の作品。
- ② ショパンの練習曲より任意の1曲。
- ③ 自由曲。

[注意] ①②③は演奏時間が合わせて15分以上20分以内であること、
但し①と②を合わせた演奏時間が8分程度までになるように選曲すること。

本選課題曲 50分以上60分以内のソロプログラムで、2つ以上の異なった時代から選曲すること。

[注意] 予選・本選とも、繰り返しに関しては常識の範囲で自由とする。
予選・本選で曲が重複しないこと。